

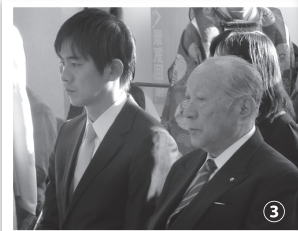
活動報告



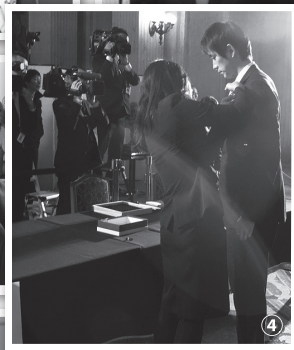
①



②



③



④



⑤



⑥



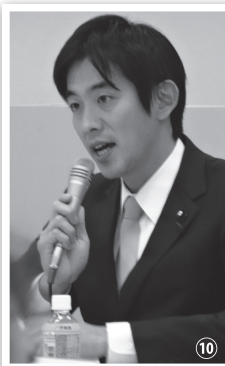
⑦



⑧



⑨



⑩

- ①小泉進次郎議員応援演説。
- ②安倍総理応援演説。
- ③公示日に市原弘選対委員長(千葉市議)と神前式。
- ④当選後記章を付けて頂く。
- ⑤習志野市内にて個人演説会。
- ⑥当選確実の一報で支援者の方々と万歳。
- ⑦陸上自衛隊習志野駐屯地の降下訓練初めに。
- ⑧八千代市消防出初め式。
- ⑨習志野市賀詞交歓会。
- ⑩同僚議員との産業別勉強会にて。

facebook

www.facebook.com/hawk.kobayashi

twitter

twitter.com/kobahawk

ホームページ

www.kobayashi-takayuki.jp



小林鷹之プロフィール

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員2期目。財務金融・外務・東日本大震災復興の各委員会委員、自民党外交部会／財務金融部会の副部長、青年局次長他、各種事務局を務める。現在40歳。一女の父。

国会見学

小林鷹之事務所では、国会見学の受付もしております。見学をご希望される方は、希望日時、団体名、代表者名、参加人数、等を下記事務所までお知らせ下さい。

小林鷹之と共に語る会(国政報告会)

小林鷹之による国政報告会を開催しております。ご希望の方は下記の八千代事務所までご連絡下さい。

小林鷹之事務所

国会事務所

〒100-8981

東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 417号室

電話：03-3508-7617 FAX：03-3508-3997

八千代事務所

〒276-0042

千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5 アットホームセンター第2ビル 202号室

電話：047-409-5842 FAX：047-409-5843

Email：info@kobayashi-takayuki.jp

たかゆき
小林鷹之からの手紙

「第47回衆議院総選挙」後の初登院

新年を迎えて

絆を力に。2015年 Vol.22 [討議資料]

衆議院議員

自民党千葉二区支部 小林鷹之事務所発行

(八千代市・習志野市・千葉市花見川区)

新年を迎えて

昨年末、再び国会へと送って頂きました。感謝の気持ちと共に、決して数に奢ることなく、より謙虚に皆様の声に耳を傾け、何より結果にこだわっていく決意を持って新年を迎えました。

【まずは景気回復】

特に力を入れているのは、景気回復の「実感」を皆様のお手元に届けるための経済政策。年末年始も地域経済を支える地元の中小企業や、商店街の方、年金でお暮しの方、私と同じ子育て世代の方、農家の方などから頂く声の大半は、「アベノミクスの効果はまだ感じられないよ」との声。「経営や暮らしが良くなった」と声を頂けるまで、必要な施策を全力で進めてまいります。

その観点から、昨年末の総選挙後は、来年度税制改正に取り組み、経済活性化を前面に押し出した内容を大晦日の前日にとりまとめました。加えて、昨年4月の消費税率引上げや、円安による原材料・食料品価格の上昇、米価の下落などを受けて、経済の脆弱な部分に的を絞って迅速に対応すべく、3.5兆円規模の緊急経済対策を策定しました。中小企業に対しては、資金繰り・事業再生支援に加え、意欲的な取組みを行う製造業やサービス業への支援、物流を担う運送業者への燃料費支援、農家への生産コスト低減支援な

ど、現下の経済情勢を踏まえた生活者・事業者支援などを内容としております。

【社会保障と財政健全化】

地元の皆様のご意見を伺う限り、消費税率の再引き上げ時期を18か月延期する決断については、大方の賛同を得られたと受け止めています。しかし、延期によって当初見込まれていた消費税収が不足し、医療・介護、子育て支援などの財源に穴が開きます。勿論、増税延期が経済活動を後押しすることに伴う税収増も見込めますが、それで穴埋めできるほど我が国の財政状況は生易しいものではありません。こうした状況を受けて、例えば、介護報酬も2.27%のマイナス改定。経営が厳しい中小の介護施設は人件費カットを迫られ、更なる人手不足、質の低下、廃業の増加等が懸念されます。これから需要が増える介護の現場において、特に若い職員の方々が誇りや希望を持って働く環境を整えることは国の責任です。そしてそのためにはやはり安定財源が必要です。

昨年末の永田町では、「経済成長」に名を借りた、猫も杓子も減税を求める声が至る所で見られました。しかし、財政への信頼が失われれば、金利は上昇し、ひいては経済成長を阻害します。持続可能な経済成長と財政健全化は表裏一体。今夏に策定する新たな財政再建計画を検討していく中で、財政規律を安

易に緩める動きが強くなれば、社会保障の持続可能性も失われ、将来世代に大きな禍根を残すこととなります。次世代に対して責任ある行動を心掛けてまいります。

【外交・安全保障】

我が国を取り巻く国際環境は大きく動いております。特に今年は、戦後70年、日韓国交正常化50周年といった節目の年。同盟国の米国では先般の中間選挙でホワイトハウスと議会がねじれ関係になる中で政策決定が滞る可能性がある一方、隣中国が力を背景とした外交で地域の法の秩序に対抗する動きを強めています。安全保障法制の整備や日米ガイドラインの改定など、国民の皆様への説明責任を果たしつつ、世界平和や国際社会へ貢献する国家の舵取りに尽力してまいります。

結びに、若い世代に対する期待の大きさを感じています。本年も自らの信念に基づき、是々非々で国会審議に臨んでいきますので、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

※公職選挙法第147条の2により、年賀状等の挨拶状を出すことを禁じられておりますので、ご理解いただけますと幸いです。

平成二十七年一月吉日
衆議院議員

小林 鷹之